



22

株式会社ぶらんこ

農場モニタリングで 手間を軽減「ファーモ」



「ファーモ (farmo)」の説明をする永井社長

「ココチップを開発した後、プレス報道を見た宇都宮市の方から『いちご農家さんで使えそうですね』とお話があり、さっそく農家にうかがいました。いろいろ話す中から『農場の温度や湿度などをスマホでチェックできたら、ありがたい』というアイデアをいただいたのが、ファーモのス

平成27年11月に開催された「新商品・新サービス合同プレス発表会」で、スマホアプリ「ココチップ」を発表した(株)ぶらんこの永井洋志社長。今回は農場の状態を監視し、データをスマホに送ってくれるシステム「ファーモ (farmo)」を紹介してくれました。

田畑にセンサーをつけたポールを設置し、気温や湿度、水温、水位などさまざまなデータを監視します。それらのデータは逐次サーバーに送信され、農場の管理者はスマホ経由でデータのモニタリングをすることが出来ます。ポールに備えられたセンサーなど各種機器は、昼間はソーラーパネルで電池に充電し、夜はその電力で稼働するため、24時間体制で農場を見守ります。

株式会社ぶらんこの「ファーモ」は、農場でさまざまなデータを収集し、スマホに送信するシステムです。

ターゲットでした」

試作機を作ったところ、各方面から大好評。農家にとって農場の見回りは、日課とはいえ労力を使う仕事です。居ながらにしてデータを収集できる「ファーモ」を使うことで、正確な情報を収集・蓄積できると同時に、省力化も達成できます。

「現在、6軒の農家や宇都宮市に協力していただいて実証実験を行っています。予想以上に好反応で、自分でも驚いています。農業関係は経験がなかったのですが、大変でしたが、それだけに得たものも大きかったです」

「農業だけでなく、さまざまな場所の管理にも応用できる「ファーモ」。製品化もままなくです。



実証実験の様子。水田の中に複数のポールを設置してデータを収集し送信



株式会社ぶらんこ
代表取締役 永井洋志さん